

人力による運搬、施工が可能なFRP一体型製品はめ込み水路補修工法

# FRPフリュームカセット工法



FRPフリュームカセット工法は、水路内側にFRP製の一体型製品『FRPフリュームカバー』をはめ込み保護する工法です。FRPフリュームカバーは軽量で、人力による運搬、施工が可能なため、重機の乗り入れが困難な水路や中山間地域、住宅地等、さまざまなニーズに対応可能です。また任意の断面形状に対応することが可能で、「工期短縮」、「コスト低減」が図れるとともに、狭小箇所における施工性にも優れた水路補修工法です。

## FRPフリュームカセット工法の特徴

- ① FRPフリュームカバーは軽量で、人力による運搬、施工が可能です。（施工時に重機を必要としない）
- ② 重機が進入できないような水路、狭小箇所等、特殊な現場・施工条件下においても有効的な工法です。
- ③ 任意の断面形状への対応可能で、かつ現場加工も容易であり、施工性に優れます。
- ④ 人力による運搬、施工で「工期短縮」、「コスト低減」を図ることができます。（仮設道路等大がかりな仮設が不要）
- ⑤ FRPフリュームカバーは水理性に優れており、既存流量同等、もしくはそれ以上が確保できます。

## FRPフリュームカバーの耐久性

### 耐久性

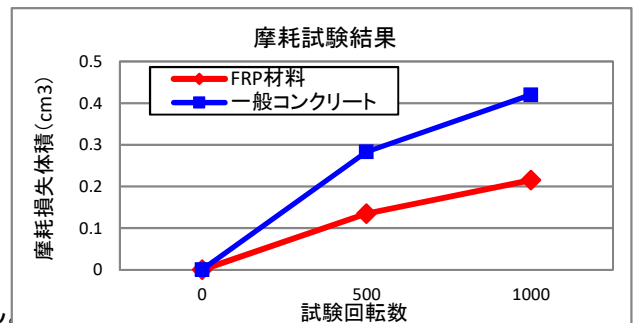
回転数	摩耗損失体積 (cm <sup>3</sup> )		耐摩耗性
	FRP材料	コンクリート	
500	0.135	0.283	約2倍
1000	0.215	0.420	

磨耗試験によるFRP材の耐摩耗性検証

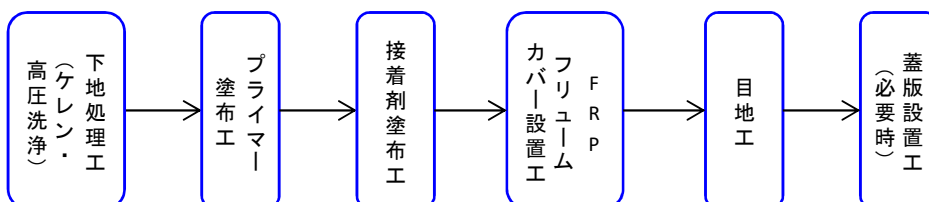
JIS K 7204:1999

(プラスチック摩耗輪による磨耗試験)

※上記の値は、試験値であり、品質保証値ではありません。



## FRPフリュームカセット工法 施工フロー



## FRPフリュームカセット工法の施工例



① 施工前



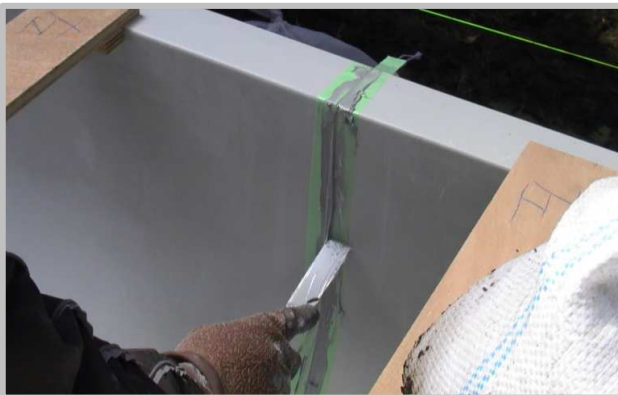
② 下地処理工(ケレン・高圧洗浄)



③ プライマー・接着剤塗布工



④ FRPフリュームカバー設置工



⑤ 目地工



⑥ 養生状況



施工完了

蓋版設置事例



この内容は2019年7月現在のものです